

浦上キリシタン流配150年(2018~23)

ニュースレター



5月3日 乙女峠まつり

つわのあかびと
津和野証し人37人 列聖調査開始を宣言

絶好の青空におおわれた乙女峠の広場に、教区内外から例年になく多くの方々が参加されミサが行なわれた。今回は列聖を目指す上での大事な節目のミサと言う事で、大阪教会管内の全ての教区の司教と補佐司教(7人)に加え、遠く札幌教区から勝谷太治司教も共同司式に加わって下さり、前田万葉枢機卿の主司式で行なわれた。なお、長崎の浦上教会からは久志利津男主任司祭ひさしが来て下さった。ミサの中で、2月に広島教区に通知されたバチカンからの列聖調査開始許可書が、ヴェチェスラヴ・トゥミル教皇大使代理参事官から読み上げられ、それを受け白浜司教から「津和野証し人37人の列聖調査開始」の宣言が行なわれた。



なお、この宣言を受け6月11日(火)に正式に「津和野の証し人列聖調査委員会」が発足する予定。今後この委員会を通して、津和野の証し人37人の公式な列聖調査が開始される。又、「明治初期・津和野の証し人 列聖推進協議会」では、会への加入(法人・個人)と祈りや献金等によるご支援を求めている。このミサの様子は、教区ホームページ掲載の動画をご覧ください。又4月21日付け「広島教区報116号」にも関連事項が掲載されているのでご覧ください。

四番崩れを広く知らせる
幾つかの取組み(1) 流配パネル展、夏から京都教区きょうときょうくでも開催

関西各地にも、浦上四番崩れの流配地は点在している。この3月山口県内巡回を最後に、広島教区内の教会での展示会をほぼ終えることが出来た。今年度は夏~秋の3か月間ほどかけ、流配地こおりやま郡山を持つ大和郡山教会を始めとした、奈良県内8カ所の教会で巡回展示会を開くことが決まった。奈良ブロック関係者の熱意に



感謝する。広島教区外でも展示会が行なわれることは望外の喜び。

今回は新たなパネル7枚が加わり、全部展示すれば19枚程になる予定。昨年度広島教区内各地を巡回したパネル12枚に加え、「萩」と広島教区以外の流配地帰還者の集合写真6枚も新たに追加される。この中には特に、「和歌山・大和郡山・富山」(前頁写真)や「伊賀・伊勢・尾張」等、関西近辺の方々の写真パネルも含まれ、奈良県の信徒たちの目を惹くものと思う。パネル複製データは浦上キリシタン資料館のご協力を得た。岩波館長に感謝する。展示会の実施状況は、また紙面でいつかお伝え出来たらと思う。なお津和野教会でも、同様の流配パネルが常設展示(集合写真は広島教区関係のみ)されているので、乙女峠まつり等で津和野に巡礼する機会が有ればご覧ください。

(2) 「全国流配地案内」発行へ向け、浦上教会と協働

3月16日(土)に浦上教会で広島教区(白浜司教他)と浦上教会(久志神父他)の有志の集いが開かれた。話題の一つが、昨年7月22日(日)浦上教会でのシンポジウムで広島教区殉巡ネットから提案した、全22カ所の流配地を紹介する「全国流配地案内」発行の件。その冊子を一般の方にも親しめる形で編集することを目指そうというものである。

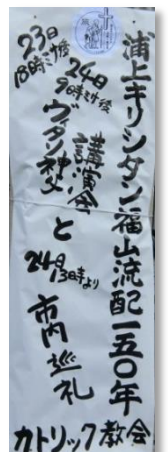
今後両者の会合を《長崎・広島「旅」連絡会》として継続的に開催し、その中で互いの連携を図りながら作業を進めていくことを確認した。流配者の浦上帰還150年を迎える2023年までに、大きな喜びを持ってこの冊子を皆さん方にお届けし、それぞれが手に取り、西日本各地の流配地を巡礼出来る日が来ることを願っている。

(3) 流配 150 年: ヴィタリ神父講演会 と福山市内巡礼



2月23日(土)~24日(日)の2日間、備後協働体(福山・尾道・三原)研修会が福山で開催された。講演会テーマは「浦上4番崩れとその殉教者」と題して、津和野の証し人等の資料を示しながらお話された。その中で信仰継承のヒントとして、家族で祈る事の大切さを教えて下さった。

24日午後は福山市内の流配ゆかりの場所4か所を徒歩巡礼。途中の公園では「旅する教会の神秘」のロザリオを唱え、3教会の信徒の方々と殉教者の信仰を偲ぶことが出来た。



この徒歩巡礼はこれからも流配150年最後の2023年までは続ける予定。来年は2月23日(日)に行なうのでご参加下さい。(福山教会報・抜粋)

<★前 広島地区長。現 日本26聖人記念館館長>

.....

■ 全国の殉教祭日程 → 中央協議会ホームページトップ下「こよみ」から予定表が見られます。

ニュースレター No. 9 正誤訂正 ヴィリオン神父年表

- ・浦上教会献堂式 誤 1914→正 1915 (他の資料も訂正よろしく) 浦上教会歴史委<要請>
- ・サビエル碑祝別 誤 1926. 10. 15→正 10. 16
- ・逝去年令 誤 89 才→正 88 才

《発行：広島教区 殉教地・巡礼地ネットワーク 事務局》